

観光安心通信

令和3年10月15日号

県では、県内での新型コロナウイルス感染症の感染事例における「感染拡大に影響があると推測される事項」を記者発表資料等から抜粋するなど事例を紹介し、改めて、各施設等における感染症対策の確認をしていただけよう、月2回「観光安心通信」を発行し、情報提供しています。事例(推測される事実)の御紹介になりますが、是非、御一読いただき、参考にいただければ幸いです。

9月29日から10月14日までの間、「感染拡大に影響があると推測される事項」の発表は、ありませんでした。

みなさまの御協力のおかげで、現在、宮城県内での感染状況や医療提供体制は一定の落ち着きを見せており、「ステージ2」まで改善したものと判断されています。

引き続き、感染状況が急激に悪化することのないよう、10月31日までは、「リバウンド防止徹底期間」となっています。

感染を拡大しない、させないため、今一度、感染防止対策の確認と、呼びかけをお願いします。



◎ 最近の感染の傾向 1

感染の中心は、20代～40代

家庭を持つ働き盛りの年代が感染し、**家庭内や職場で感染を広げる事例**が増えている。

対策① 家庭内感染の防止

- ・帰宅時の手洗いの徹底
- ・タオルを共用しない
- ・静かに食事をする。料理はできるだけ小分けにする
- ・こまめに換気をする など

対策② テレワークの推進

※ 職場内で感染を広げないよう、できるだけテレワークで感染防止

◎ 最近の感染の傾向 2

保育施設や児童関連施設での感染と思われる事例が増えている。

主な感染対策

- ① 窓を開けて定期的な換気(※)
- ② 手洗いの徹底
- ③ 手が触れた場所の消毒の徹底
- ④ 体調が優れない場合の早めの受診

などの感染対策を徹底しましょう。特に、室内で多くの子どもたちが集まる場合には、こまめな換気が重要です。

※ 定期的な換気とは...

2方向の窓を開け、数分程度の換気を1時間に2回程度行うことが有効です。窓が1つしかない場合は、部屋のドアを開けて、扇風機などを窓の外に向けて設置すると効果的です。